＊＊2026 年 04 月改訂（第 7 版）
＊2026 年 03 月改訂（第 6 版）

医療機器認証番号：228AFBZX00094000

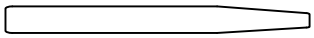
医療用品 04　整形用品
管理医療機器　歯科根管ポスト成形品キット（70924000）

ヤマハチ　ファイバーポスト

再使用禁止（ポストのみ）

【禁忌・禁止】
・本品又は配合成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
・下記の症例・患者には適用しないこと。
①本品が直線的に装着できない症例
②残存歯質の全周に渡る歯冠部高径が 1mm 未満の症例
・再使用禁止（ポストのみ）

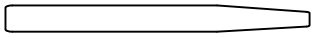
＊【形状、構造及び原理等】
形状：本品はポスト及びドリルからなる。
(1) ポスト
ポスト（Cytec eco）



種類	全長	先端部外径
φ 1.0	20	0.5
φ 1.2	20	0.6
φ 1.4	20	0.8
φ 1.6	20	0.9
φ 1.8	20	1.0
φ 2.1	20	1.2

（単位：mm）

＊ＨＴ（Cytec pro eco）



種類	全長	先端部外径
φ 1.0	20	0.5
φ 1.2	20	0.6
φ 1.4	20	0.8

（単位：mm）

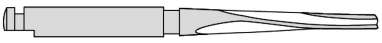
＊ＳＰ（Cytec pro）



種類	全長	先端部外径
φ 1.0	20	0.5
φ 1.2	20	0.6
φ 1.4	20	0.8

（単位：mm）

(2) ドリル
＊ポスト　ドリル



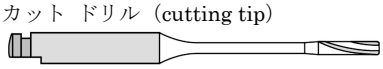
種類	全長	刃部長さ	刃部外径	カラー
φ 1.0	32	11	1.05	赤
φ 1.2	32	13	1.3	白
φ 1.4	32	13	1.5	黄
φ 1.6	32	13	1.7	緑
φ 1.8	32	13	1.9	青
φ 2.1	32	13	2.14	黒

軸部直径：2.35mm　（単位：mm）

ガイド ドリル（guiding tip）



カット ドリル（cutting tip）



種類	全長	刃部長さ	刃部外径
ガイド ドリル	32	5	0.95
カット ドリル	31.5	4.5	0.95

軸部直径：2.35mm　（単位：mm）

(2) 成分
①ポスト：ガラス繊維、エポキシ樹脂、Ｘ線造影材
②ドリル：ステンレス綱
(3) 原理
ドリルによる歯髄腔の開孔、根管の拡大・形成後、根管内に歯科用支台築造材料とポストを挿入し、硬化させることにより支台歯の補強若しくは維持効果が得られる。

【使用目的又は効果】
歯科修復物、補綴物等の維持又は補強に用いること。

＊＊【使用方法等】
１．直接法
(1) ポストサイズの決定及び根管形成
①通法に従い、根管形成・根管充填を行い、Ｘ線写真等より適切なポスト及びドリルを選択する。Ｘ線写真上に歯科用ドリル等を置き、支台築造用製品を充填する根管の深さが根尖より最低 4mm 根管充填材を残した状態となるように深さを測定する。
②ピーソリーマー等を使用し、不要な根管充填材を除去する。
③径の細いドリルから順に使用し、ポスト植立に必要な深さまで拡大する。フェルール（歯冠部残存歯質）の高さは 1～2mm 以上、厚さは 1mm 以上を目安に形成する。
ドリルは 500～1,000rpm で使用すること。
本品のドリルは未滅菌品であるため、使用前に必ず高圧蒸気滅菌（121℃、20 分間以上）を行うこと。
本品のドリルは再使用可能である。使用後、直ちに清掃液（マルチクリーナー等）、グルコン酸クロルヘキシジン系消毒剤（5%ヒビテン液等）、グルタラールアルデヒド系消毒剤（ハイドリッド 20w/v%等）等を用いて付着物を完全に除去し、使用前に高圧蒸気滅菌（121℃、20 分間以上）を行うこと。
④根管形成後、水洗を行い、ペーパーポイント等を用いて、根管内を確実に乾燥させる。
(2) ポストの試適
①ポストを根管に試適した状態でＸ線写真を撮影し、ポストが根管の先端まで到達していることを確認する。
②ポストを取り外し、ダイヤモンドディスク、ダイヤモンドバー等を用いてポストの末端部を切断して長さを調節する。
③エタノールを染み込ませたガーゼやワッテ等でポストを拭き、エアーブローを行い、確実に乾燥させる。
(3) 歯面処理
使用する支台築造用コンポジットレジンの使用方法に従い、歯面処理を行う。
(4) ポストの植立
支台築造用コンポジットレジンを根管内へ填入し、ポストの植立後、使用する支台築造用コンポジットレジンの使用方法に従い、ポストの仮固定を行う。
(5) 支台築造
支台築造用コンポジットレジンの使用方法に従い、支台築造を行う。
(6) 支台歯形成
支台築造用コンポジットレジン硬化後、通法に従い、支台歯形成を行う。

２．間接法
(1) ポストサイズの決定及び根管形成
①通法に従い、根管形成・根管充填を行い、Ｘ線写真等より適切なポスト及びドリルを選択する。Ｘ線写真上に歯科用ドリル等を置き、支台築造用製品を充填する根管の深さが根尖より最低 4mm 根管充填材を残した状態となるように深さを測定する。
②ピーソリーマー等を使用し、不要な根管充填材を除去する。
③径の細いドリルから順に使用し、ポスト植立に必要な深さまで拡大する。フェルール（歯冠部残存歯質）の高さは 1～2mm 以上、厚さは 1mm 以上を目安に形成する。
ドリルは 5 00～1,000rpm／分で使用すること。
本品のドリルは未滅菌品であるため、使用前に必ず高圧蒸気滅菌（121℃、20 分間以上）を行うこと。

本品のドリルは再使用可能である。使用後、直ちに清掃液（マルチクリーナー等）、グルコン酸クロルヘキシジン系消毒剤（5%ヒビテン液等）、グルタラールアルデヒド系消毒剤（ハイドリッド 20w/v%等）等を用いて付着物を完全に除去し、使用前に高圧蒸気滅菌（121℃、20 分間以上）を行うこと。
④根管形成後、水洗を行い、ペーパーポイント等を用いて、根管内を確実に乾燥させる。

(2)印象採得
通法に従い、歯科用印象材で印象採得する。

(3)模型製作及びポストサイズの決定
①採得した印象に歯科用模型材を用いて模型を製作する。窩洞内にアンダーカットがある場合は、ワックス等であらかじめブロックアウトする。
②模型上の築造窩洞にて試適を行い、ポスト形成した先端まで到達していることを確認する。
③ポストを取り外し、ダイヤモンドディスク、ダイヤモンドバー等を用いてポストの末端部を切断して長さを調節する。
④エタノールを染み込ませたガーゼやワッテ等でポストを拭き、エアーブローを行い、確実に乾燥させる。

(4)支台歯の製作
①模型に支台築造用コンポジットレジンの付着を防止する分離材（ワセリン等）を塗布する。
②支台築造用コンポジットレジンを模型根管内に填入し、ポストを植立する。使用する支台築造用コンポジットレジンの使用方法に従い、ポストの仮固定を行う。
③支台築造用コンポジットレジンの使用方法に従い、支台築造を行い、硬化させる。
④症例に応じて他の歯冠作製用材料を用いて歯冠形態を回復させる。

(5)支台歯の装着
製作した支台歯を模型から取り外し、使用する歯科用セメントの使用方法に従い、根管に装着する。

[使用方法に関連する使用上の注意]
①デュアルキュア型の支台築造用コンポジットレジン及びレジンセメントを使用すること。
②併用する医療機器の使用に際しては、各医療機器の添付文書の使用方法、注意事項等を確認してから使用すること。
③ポストの長さ調節は、必ず植立前に行うこと。
④ポストを削って形状を変えないこと。
⑤ポストを切断する際には、ポストを押しつぶしてファイバーがほぐれてしまう恐れがあるので、プライヤー、はさみ等は使用しないこと。
⑥ポスト表面のサンドブラスト処理やバーによる粗造化は行わないこと。
⑦ドリルはハンドピースメーカーの指示に従ってシャンクを確実に奥まで挿入して、半チャックでないことを確認すること。
⑧ドリルはハンドピースに確実に装着し、使用前に患者の口腔外で回転させ、ハンドピースからの脱落や芯ブレなどの支障のないことを確認すること。使用に適さない場合は、新しいものと交換すること。
⑨ドリルは注水下で、ソフトタッチで使用すること。
⑩根管内は適切な方法で清掃し、仮封材及び仮着材の残留がないようにすること。
⑪接着不良を起こす恐れがあるため、ポスト装着前の根管清掃には過酸化水素やＥＤＴＡを使用しないこと。
⑫接着不良を起こす恐れがあるため、ポストを直接手指等で取り扱わず、ピンセットやグローブ等を使用すること。
手指等がポストに接触したり、表面が汚染された場合は、エタノールを染み込ませたガーゼやワッテ等で汚れを拭き取り、エアーブローを行って確実に乾燥させること。
⑬エアーブローを行う際は、エアーシリンジからオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから行うこと。
⑭レジンコアの形態修正を行う際に、高速回転で研磨しないこと。研磨によって露出したポストが焦げることがある。その場合は回転速度を落として研磨し直すこと。

【使用上の注意】
1)使用上の注意
①ポストは再使用しないこと。
②本品の使用に際し、必要に応じてラバーダムなどの防湿処置を施すこと。
③ポスト及びポストを使用した硬化物の研削、研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、保護メガネ、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。
④高温となる場所（ストーブの側、直射日光が当たる場所等）に放置しないこと。
⑤ドリルは使用前に必ず点検を行い、損傷、変形（錆、表面キズ、曲がり、汚染）等のあるものは使用しないこと。
⑥ドリル使用の際には保護メガネ等を使用すること。
⑦乾熱滅菌、次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系消毒剤は使用しないこと。
⑧清掃液、消毒剤、滅菌器については、製造業者の指示に従い、正しく使用すること。
⑨本品の誤飲には充分注意すること。
⑩他の製品と混用しないこと。

2)重要な基本的注意
①本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
②本品又は配合成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
③本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状があらわれた術者は、使用を中止し、医師の診察を受けること。

＊【保管方法及び有効期間等】
[保管方法]
＊直射日光を避けて室内に保管すること。
・ドリルは錆びる恐れがあるため、水分が付着したまま保管しないこと。
・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売業者　：　山八歯材工業株式会社
電話番号　：　0533-57-7121
ＦＡＸ番号　：　0533-57-1764
e-mail　：　box@yamahachi-dental.co.jp

製造業者　：　E.HAHNENKRATT GmbH（国名 ドイツ）
エー・ハーネンクラット